

推薦のことば

渡辺 和子

正直に申し上げて、私は、羽仁もと子先生のお書きになったものに、深く触れたことのない者です。

カトリックのミッションスクールに通い、自由学園についての認識も浅く、特徴のある学校としての尊敬は持っておりました。それが、1990年頃でしたか、思いがけず、その年の卒業式でお話をするようお頼まれし、その後、最高学部の学生さんたちに、毎年何回か講義をさせていただきました。

そのような関わり合いの中で、学園の生徒さんたちが、一人ひとり、自分の意思を持っていらっしゃることに気づいたのです。羽仁もと子先生が、自由ということについて、小学生でもわかるようにお話ししていらっしゃるお言葉に感銘しました。

「あなたがたは、脱いだはきものを揃えてから上がる自由があります」という趣旨だったと思います。それは、「揃えずに脱ぎっ放しで上がる自由もあります」ということにもなります。先生はいみじくも、この学園の標榜する自由は、まず考えること、どちらがより良いかを選ぶこと、したがって、自己の決断には、あくまでも、自分が責任を取る「自由」なのだと理解しました。

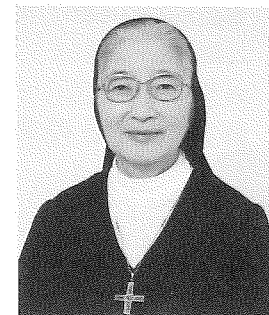
この度、廣瀬薫先生の「良く生きる手がかり」という冊子を拝見し、このテキストが、単なるキリストのみことばを示すだけでなく、そのみことばを、一人ひとりが祈り、考察すること、それを元にして、自分なりの意見をまとめることにより、良く生きるべく人を導こうとしていらっしゃることに感銘を受けました。

「信仰は持つだけのものでなく、生きるものだ」としみじみ思います。もと子先生が、この学園に学ぶ人たちに求めていらしたのも、この、生きた信仰であったと思います。

この冊子を手にする人たちが、知識としてのみことばだけでなく、自ら考え、自ら選択し、責任を取る一人格に育つようにと祈っております。

プロフィール

北海道旭川生まれ。聖心女子大学卒業。上智大学大学院修了。1956年ナミュール・ノートルダム修道女会入会后、アメリカボストンカレッジ大学院でPh.D.取得。帰国後、1963年～1990年ノートルダム清心女子大学学長。1992年～2001年日本カトリック学校連合会理事長。1990年～現在学校法人ノートルダム清心学園理事長。



ノートルダム清心女子大学 聖堂